

原子力科学研究所(JRR-3) 審査資料に係る変更点について

No.	資料名	変更箇所	変更内容	変更理由
1	資料2-1 敷地周辺及び近傍の地質・地質構造	162 他	国際地質科学連合により第四紀 更新世の始まりが 181 万年前から 258 万年前に改訂されたことに伴い、海域の地層 C1 層の地質年代区分を「鮮新世」から「鮮新世～更新世」に見直した。 これによる活断層評価への影響は無い。	新知見の反映
2		13, 51	反射法地震探査の解釈について、東海第二発電所内で追加実施された反射法地震探査及び大深度ボーリング孔の調査結果に基づき、久米層基底面の解釈を一部見直した。	他サイト(東海第二発電所調査結果)との整合
3		162	棚橋他(2001)「塩屋埼沖」の完新統について、従来「地層欠如」としていたが、同文献では完新統について触れられていないものであるため「(記載なし)」に記載を改めた。	記載の適正化
4	資料2-2 敷地周辺及び近傍の地質・地質構造 (補足説明資料)	170～187	涸沼地点の断層は非構造性の表層滑落であるとした評価について、その根拠を充実した。	H28/2/13 現地調査での指摘による
5	資料3-1 敷地の地質・地質構造について	39 他	東海第二発電所との火山灰の対比において、原子力科学研究所⑩と東海第二発電所IV-4 が新たに対比できることを確認し、資料に反映させた。	他サイト(東海第二発電所調査結果)との整合
6		25 他	No.7 孔の鍵層としている凝灰岩の写真を資料に追加した。	H28/2/13 現地調査での指摘による

※ その他の記載の適正化、軽微な誤記修正、用語・表現の統一については省略

No.	資料名	変更箇所	変更内容	変更理由
7	資料3-2 原子力科学研究所(JRR-3)敷地の地質・地質構造について(補足説明資料)	9~11	久米層中の特徴的な構造(浸食境界、サンドダイク様等)について記載を充実した。	H28/2/13 現地調査での指摘による
8	資料3-3 原子力科学研究所(JRR-3)敷地の地質・地質構造について(ボーリングコア写真・柱状図集)	8 他		
9	資料4 基準地震動 S <sub>s</sub> の策定について	18,138,140	F3 断層、F4 断層の連動について、地表面トレースの見直しに伴い断層長さ、マグニチュード及び等価震源距離を見直した。 また、見直しに伴い、内陸地殻内地震の検討用地震の選定に関する応答スペクトルを修正した。 これによる内陸地殻内地震の検討用地震の選定への影響はない。	他サイト(大洗研 HTTR)との整合

※ その他の記載の適正化, 軽微な誤記修正, 用語・表現の統一については省略

大洗研究開発センター (HTTR) 審査資料に係る変更点について

No.	資料名	変更箇所	変更内容	変更理由
1	資料2-1 敷地周辺及び近傍の地質・地質構造	162 他	国際地質科学連合により第四紀 更新世の始まりが 181 万年前から 258 万年前に改訂されたことに伴い、海域の地層 C1 層の地質年代区分を「鮮新世」から「鮮新世～更新世」に見直した。 これによる活断層評価への影響は無い。	新知見の反映
2		13, 51	反射法地震探査の解釈について、東海第二発電所内で追加実施された反射法地震探査及び大深度ボーリング孔の調査結果に基づき、久米層基底面の解釈を一部見直した。	他サイト(東海第二発電所調査結果)との整合
3		162	棚橋他(2001)「塩屋埼沖」の完新統について、従来「地層欠如」としていたが、同文献では完新統について触れられていないものであるため「(記載なし)」に記載を改めた。	記載の適正化
4	資料2-2 敷地周辺及び近傍の地質・地質構造 (補足説明資料)	170～187	涸沼地点の断層は非構造性の表層滑落であるとした評価について、その根拠を充実した。	H28/2/13 現地調査での指摘による

※ その他の記載の適正化, 軽微な誤記修正, 用語・表現の統一については省略

No.	資料名	変更箇所	変更内容	変更理由
5	資料3-1	6~10	敷地周辺の地形・地質に関する資料を充実した。	記載の充実
6	敷地の地質・地質構造について	14 他	国際地質科学連合により第四紀 更新世の始まりが 181 万年前から 258 万年前に改訂されたことに伴い、久米層の地質年代区分を「鮮新世」から「鮮新世～更新世」に見直した。これによる活断層評価への影響は無い。	新知見の反映
7		14, 15	層序表で確認される各層の年代観について既往文献を再度確認し、整合性を確認した。	H28/2/13 現地調査での指摘による
8		24	M1 段丘堆積物中に見られた白斑状生痕の写真を資料に追加した。	H28/2/13 現地調査での指摘による
9	資料4 基準地震動 Ss の策定について	176,177	Mw6.5 以上の2地震の震源域と大洗研究開発センター (HTTR) の比較表について、対象地震震源域とサイトとの特徴が特に異なる点を記載した。	H28/10/14 審査会合での指摘による
10		198,202,214	年超過確率の参照における特定震源 (調査モデル; 内陸地殻内地震) のうち、F3 断層及び F4 断層の連動破壊及び単独破壊に関する考え方を追記した。	H29/9/15 審査会合での指摘による
11		236,256	地震地体構造区分に係る記載を修正した。	H28/10/14 審査会合での指摘による

※ その他の記載の適正化, 軽微な誤記修正, 用語・表現の統一については省略